

第12回横幹連合コンファレンスプログラム

※1 講演 20 分です。時間配分に変更がある場合は講演時間が記載されています。

↑の講演は講演原稿がありません。

12月18日(土)

A 室

12:50~14:50

A-1 OS02:「未来戦略デザイン・プロデューサー」の教育プログラム開発

オーガナイザ:新目真紀(職業能力開発総合大学校)

- A-1-1 未来戦略デザイン・プロデューサー—G3: スマート製品設計と DX—
○荒川雅裕(名古屋工業大学), 朴英元(埼玉大学), 阿部武志(青学 Hicon), 田崎一広(富士フイルムビジネスイノベーション), 包智慧(青山学院大学大学院)
- A-1-2 学習 BOM と AI チャットボットのオンライン・グループワーク演習への適用—学習知識の階層構造に対応した質疑応答システムと学習進捗管理—
○鄭周華(青山学院大学), 新目真紀(職業能力開発総合大学校), 佐久田博司(青山学院大学), 玉木欽也(青山学院大学)
- A-1-3 未来戦略デザイン・プロデューサー—G2: ターゲット顧客の態度変容を促すデジタルマーケティングの効果測定—
○新目真紀(職業能力開発総合大学校), 玉木欽也(青山学院大学), 秋山義希(株式会社大塚商会)
- A-1-4 未来戦略デザイン・プロデューサー—G1: 社会課題解決と CSV—
○高松朋史(青山学院大学), 平林裕治(青学 Hicon), 鄭周華(青山学院大学大学院), 戴智豪(青山学院大学大学院), 王雁(青山学院大学大学院), 玉木欽也(青山学院大学)
- A-1-5 プラットフォーム開発を目的とした教育プログラムの提案と実施の考察
○中邨良樹(青山学院大学), 木内正光(玉川大学), 後藤智(早稲田大学), 友松恵子((株)構造計画研究所), 織田考司((株)テクノプロ), 永田義昭(Onemore), 玉木欽也(青山学院大学)
- A-1-6 「未来戦略デザイン・プロデューサー」G0: バックキャストによる事業コンセプト企画の構想
○木内正光(玉川大学), 後藤智(早稲田大学), 友松恵子(株式会社 構造計画研究所), 織田孝司(株式会社 テクノプロ), 中邨良樹(青山学院大学), 永田義昭(Onemore), 玉木欽也(青山学院大学)

12月18日(土)

B 室

12:50~14:50

B-1 OS03:ポストコロナ社会における地域コミュニティと横幹知

オーガナイザ:遠藤薫(学習院大学)

- B-1-1 ポストコロナ社会における地域コミュニティと横幹知
○遠藤薫(学習院大学)
- B-1-2 ポストコロナ社会における環境と経済の両立
○板倉宏昭(東京都立産業技術大学院大学)
- B-1-3 ポストコロナ社会における超スマート社会と地域コミュニティ
○永原正章(北九州市立大学)
- B-1-4 ポストコロナ社会における地域社会リスク低減
○倉橋節也(筑波大学)

B-1-5 COVID-19 感染拡大による生活変化の把握と対策に資する質的/量的混合アプローチ

○岡檀(情報システム研究機構 統計数理研究所), 椿広計(情報システム研究機構 統計数理研究所), 山内慶太(慶應義塾大学)

B 1-6[†] ディスカッション

12 月 18 日 (土)

C 室

12:50~14:50

C-1 OS09:COVID-19 感染の再発防止・未然防止へ向けて

オーガナイザ:鈴木和幸(電気通信大学)

12:50~13:30

C-1-1 データに基づく COVID-19 感染の未然防止
○鈴木和幸(電気通信大学)

13:30~14:10

C-1-2 信頼・安心へのメタ未然防止
○加藤進弘(電気通信大学(鈴木和幸研究室)), 大石修二(電気通信大学), 鈴木和幸(電気通信大学)

14:10~14:50

C-1-3 COVID-19 感染予防に向けたデジタルツールを用いた安全管理
○渡辺吉明(TDN International Ltd.)

12 月 18 日 (土)

A 室

15:00~17:00

A-2 OS11:AI・シミュレーション技術を駆使した健全な社会の構築に向けて

オーガナイザ:貝原俊也(神戸大学), 寺野隆雄(千葉商科大学)

15:00~15:15

A-2-1 代替データと理論モデルの融合による新たな経済観測
○和泉潔(東京大学)

15:15~15:30

A-2-2[†] 社会リスク可視化システム、及び社会リスクに適切に対応する意思決定システムの開発
○上東貴志(神戸大学)

15:30~15:45

A-2-3 ビックデータと AI 手法を活用する異分野共創型感染症対策支援システム・サービスの開発
○大曲貴夫(国立国際医療研究センター), 山形与志樹(慶應義塾大学), 中谷友樹(東北大学), 村上大輔(統計数理研究所), 日比野愛子(弘前大学), 藤原直哉(東北大学), 吉田崇紘(東京大学), 都築慎也(国立国際医療研究センター), 浅井雄介(国立国際医療研究センター), 齋藤翔(国立国際医療研究センター), 寺田麻里(国立国際医療研究センター)

15:45~16:00

A-2-4 社会政策立案に向けたマルチスケール ABSS 手法
○貝原俊也(神戸大学), 寺野隆雄(千葉商科大学), 喜多一(京都大学), 高橋真吾(早稲田大学)

16:00～17:00

A-2-5[†] ディスカッション

12月18日(土)

B室

15:00～17:00

B-2 OS08:ポストコロナ禍に向けた新しい防災の模索

オーガナイザ:有馬昌宏(兵庫県立大学)

- B-2-1 場所を選ぶ自然災害への防災対策の検討
有馬昌宏(兵庫県立大学), ○川向肇(兵庫県立大学)
- B-2-2 住民の災害対応力における自己評価とその要因
○齋藤美絵子(岡山県立大学), 佐藤ゆかり(岡山県立大学)
- B-2-3 広域型属性別浸水被害予測システム構築の試み—西日本全域を対象として—
○川向肇(兵庫県立大学), 有馬昌宏(兵庫県立大学)
- B-2-4 深層学習を利用した定性的リアルタイム被害予測手法の構築
○廣井悠(東京大学), 坂平文博(大阪工業大学)
- B-2-5 災害ボランティア活動や金銭寄付は支援者自身の幸福感をどの程度高めるのか:
東日本大震災後の意識調査を用いた実証分析
○川脇康生(関西国際大学)
- B-2-6[†] ディスカッション

12月18日(土)

C室

15:00～17:00

C-2 OS01:第4回コトづくり至宝発掘～コトづくりコレクションの選出～

オーガナイザ:川中孝章(東京大学)

15:00～15:20

C-2-1[†] コトづくり至宝発掘事業についての説明
川中孝章(東京大学)

15:20～15:40

C-2-2 コトづくり「タグチメソッド」の推薦と考察
立林和夫(元 富士ゼロックス), ○永田靖(早稲田大学)

15:40～16:00

C-2-3 ジャストインタイム(JIT)生産システム
○川中孝章(東京大学), 山下洋史(明治大学), 尾上恭吾(トヨタ自動車株式会社)

12月19日(日)

A室

9:00～11:00

A-3 OS06:企業経営・社会活動分析への MATRIX アプローチと意思決定プロセス化の研究

オーガナイザ:大場允晶(日本大学)

- A-3-1 個体学、双曲面タイプと入れ子モデル仮説—自然対人工体のあるべき姿、中央2重性とカメレオン基準 II—
○松井正之(電気通信大学、神奈川大学)

- A-3-2 産業用ロボットにおける協調要求計画とニューラルネットワーク
○仲田知弘(第一工科大学)
- A-3-3 サプライチェーンの情報ネットワークの定量評価―見込生産製造企業の SCM を事例として―
○大場允晶(日本大学 経済学部), 石井信明(神奈川大学)
- A-3-4 映画における観客のイメージと DVD ジャケットに関する研究
○大宮望(日本工業大学), 中邨良樹(青山学院大学)
- A-3-5 Z 世代が抱く現在の AI に関するアンケートテキスト分析の研究と課題
○山田哲男(電気通信大学), 舩井海斗(電気通信大学), 松野省吾(群馬大学), 長沢敬祐(広島大学), 伊集院大将(電気通信大学), 石垣綾(東京理科大学), 稲葉通将(電気通信大学), 井上全人(明治大学), 于亜婷(北見工業大学), 岡本一志(電気通信大学), 北田皓嗣(法政大学), 周蕾(山口大学)杉正夫(電気通信大学), 滝聖子(千葉工業大学), 中嶋良介(電気通信大学), 仲田知弘(第一工科大学), 大戸一藤田恵理(東京女子大学), 山田周歩(東京大学)

12月19日(日)

B 室

9:00~11:00

B-3 OS14: 行政課題の解決及び国民の生活行動研究における大規模統計データの利活用

オーガナイザ: 渡辺美智子(立正大学)

- B-3-1[†] 自殺総合対策研究における公的統計データ活用の意義
○山内慶太(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)
- B-3-2 社会生活基本調査匿名データを用いた社会的孤立要因の検討―潜在クラス分析による単身男性の介護生活行動に潜む課題抽出―
○田上紀代美(慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科), 新井崇弘(慶應義塾大学), 山内慶太(慶應義塾大学), 渡辺美智子(立正大学)
- B-3-3 「介護・看病疲れ」による自殺と行動時間情報の統合的研究―公的統計マイクロデータ利用による社会課題解決への橋渡し―
○新井崇弘(慶應義塾大学, 厚生労働大臣指定法人いのち支える自殺対策推進センター), 山内慶太(慶應義塾大学), 渡辺美智子(立正大学)
- B-3-4 地方のEBPM推進に資する統計データ利活用センターの取組について
○赤谷俊彦(総務省統計局)
- B-3-5 地域状況や行動の可視化に向けた RESAS、V-RESAS の紹介とその活用
○六信孝則(株式会社帝国データバンク)
- B-3-6 公的統計に関する疑似マイクロデータの提供可能性
○高部勲(立正大学)

12月19日(日)

C 室

9:00~11:00

C-3 一般講演

司会:(TBD)

- C-3-1 船舶への技術の導入と建造管理のためのモデルの構築について
○山本晋玄(水産研究・教育機構), 三好潤(水産研究・教育機構), 高橋竜三(水産研究・教育機構), 安田健二(水産研究・教育機構), 高橋秀行(水産研究・教育機構), 澤田浩一(水産研究・教育機構), 高尾芳三(水産研究・教育機構), 高橋裕(専修大学)

- C-3-2 大学入学共通テスト英語の計量的文体解析
○伴浩美(三田市立大学), 大藪多可志(日本海国際交流センター)
- C-3-3 深層学習を用いて卓球放送映像から獲得するボール軌道と戦術知表現
○林勲(関西大学大学院総合情報学研究科), 馮楊蘊(関西大学大学院総合情報学研究科), 入江穂乃香(関西大学大学院総合情報学研究科)
- C-3-4 キャリア形成のためのマトリックス・プランニングを用いた考察—コロナの影響を踏まえて—
○孫晶(名古屋工業大学), 渡辺江利子(名古屋工業大学), 荒川雅裕(名古屋工業大学)

12月19日(日)

A 室

14:15~16:15

A-4 OS05:ポストコロナ社会に計算社会科学はいかに貢献するか

オーガナイザ:遠藤 薫(学習院大学)

- A-4-1 ポストコロナ社会における計算社会科学と社会倫理
○遠藤薫(学習院大学)
- A-4-2 ポストコロナ社会における協力の進化
○岡田勇(創価大学)
- A-4-3 ポストコロナ社会におけるサイバー空間とフィジカル空間の相関による社会の合意形成の可否
○岡野のぞみ(鳥取大学), 岡田勇(創価大学), 石井晃(鳥取大学)
- A-4-4 パンデミック下の情報共有
○鳥海不二夫(東京大学), Lim Dongwoo(東京大学)
- A-4-5 COVID-19 と五輪に関する話題出現の媒体間比較
○吉田光男(筑波大学)
- A-4-6† ポストコロナ社会における政策決定
○上東貴志(神戸大学)

12月19日(日)

B 室

14:15~16:15

B-4 OS07:地球観測によるコロナ・ポストコロナ時代での取り組みについて

オーガナイザ:祖父江真一(宇宙航空研究開発機構)

- B-4-1 JAXA-ESA-NASA の3機関による COVID-19 に関する取り組みについて
○祖父江真一(宇宙航空研究開発機構), 濱本昂(宇宙航空研究開発機構), 杉田尚子(宇宙航空研究開発機構), 田殿武雄(宇宙航空研究開発機構), 大吉慶(宇宙航空研究開発機構), 村上浩(宇宙航空研究開発機構), 久世暁彦(宇宙航空研究開発機構), 石澤淳一郎(宇宙航空研究開発機構), 松尾尚子(宇宙航空研究開発機構)
- B-4-2 衛星画像で社会を計測する
○熊谷惇也(九州大学), 馬奈木俊介(九州大学)
- B-4-3† 日本の地球観測計画
○中須賀真一(東京大学)
- B-4-4 地球観測衛星データの公衆衛生学への応用—夜間光 (VIIRS)及び日射量 (SGLI)と国内 COVID-19 流行の比較—

- 東城文柄(東京外国語大学)
B-4-5 衛星データで移住先を探すライフスタイルの実現
○城戸彩乃(株式会社 sorano me), 田中康平(株式会社 sorano me), 玉置慎吾
(株式会社 sorano me), 牟田梓(株式会社 sorano me)

12月19日(日)

C室

14:15~16:15

C-4 OS10: AIMaP 企画: メタマテリアルの数理科学

オーガナイザ: 萩原一郎(研究・知財戦略機構)

- 14:15~14:40
C-4-1 メタマテリアルの折紙工学からのアプローチ
○萩原一郎(明治大学)
- 14:40~15:00
C-4-2 メタマテリアルのトポロジー最適化からのアプローチ
○西脇眞二(京都大学)
- 15:00~15:20
C-4-3 折紙工学から得られるメタマテリアル
○内田博志(福山大学)
- 15:20~15:40
C-4-4 最適化を用いた音響メタマテリアルの構築
○山本崇史(工学院大学)
- 15:40~16:00
C-4-5 切り紙ハニカムで作り出されるメタマテリアル
○ルイスディアゴ(明治大学, 株式会社インターローカス), 篠田淳一(株式会社
インターローカス), 萩原一郎(明治大学)
- 16:00~16:15
C-4-5[†] ディスカッション

12月19日(日)

A室

16:25~18:25

A-5 OS04: 計算社会科学と政治一分極化の問題に挑むー

オーガナイザ: 水野貴之(国立情報学研究所)

- A-5-1 オピニオンダイナミクス Trust-Distrust Model で考える社会の分極化と分断
○石井晃(鳥取大学), 岡野のぞみ(鳥取大学)
- A-5-2 アメリカ政治における政治的分極化
○西川賢(津田塾大学)
- A-5-3 エコーチェンバーと政治的分断
○笹原和俊(東京工業大学)
- A-5-4 国際政治における分極化: 国連安全保障理事会の議事録のテキスト分析から
○阪本拓人(東京大学)
- A-5-5 政治的分極化はなぜ問題なのか
○小林哲郎(香港城市大学)
- A-5-6 インクルーシブな地域社会をつくる人流データによる政策支援
○水野貴之(国立情報学研究所, KDDI 総合研究所), 上坂大輔(KDDI 総合研究所),
幡容子(KDDI 総合研究所), 南川敦宣(KDDI 総合研究所, KDDI 株式会社)

12月19日(日)

B室

16:25~18:25

B-5 OS12: 移動体の自動運転・自動操縦の安全評価

オーガナイザ: 伊藤 誠(筑波大学)

16:25~16:55

- B-5-1 自動運転車の実用化にむけた安全評価の取組
○内田信行(日本自動車研究所)

16:55~17:25

- B-5-2 自動運航船開発の現状と課題
○國分健太郎(海上技術安全研究所)

17:25~17:55

- B-5-3 産業用ドローンの安全管理
○岡部康平(労働安全衛生総合研究所), 堀智仁(労働安全衛生総合研究所), 岩田拓也(産業技術総合研究所), 伊藤誠(筑波大学)

17:55~18:25

- B-5-3[†] ディスカッション

12月19日(日)

C室

16:25~18:25

C-5 OS13: テキストマイニングと質的研究法及び心理の量的研究

オーガナイザ: 木野泰伸(筑波大学)

- C-5-1 新規創業における3タイプの特徴と創業支援に関する考察
○黒木弘司(ソーシャルサイエンスラボラトリー), 木野泰伸(筑波大学), 牧野友祐(筑波大学)
- C-5-2 顧客のブランド選択の重要観点における競合他社比較分析—顧客の望む体験価値とブランド選択の関係—
○椿美智子(東京理科大学), 森脇泰介(電気通信大学)
- C-5-3 テレワーク環境下におけるチーム業務の円滑化に関する研究
○戸澤健太(東京都立産業技術大学院大学), 永根亜由(東京都立産業技術大学院大学), 塩谷正治(東京都立産業技術大学院大学), 白井貴子(東京都立産業技術大学院大学), 藤田恵司(東京都立産業技術大学院大学), 増田 貴志(東京都立産業技術大学院大学), 三好きよみ(東京都立産業技術大学院大学)
- C-5-4 テキストデータに対する多角的な研究アプローチに関する考察—コンフリクト対処プロセスに関する研究事例—
近藤秀和(筑波大学 博士後期課程), ○木野泰伸(筑波大学)
- C-5-5 結果図に「動き」のプロセスをどう抽出するか
○鈴木博夫(株式会社興電舎), 木野泰伸(筑波大学)
- C-5-6 品詞とモデル図の関係に関する研究
○木野泰伸(筑波大学)